



学校だより

令和7年11月号

誠の花

発行 令和7年11月4日

かつらぎ町立渋田小学校

かつらぎ町東渋田 151-1

TEL 0736-22-2004

【教育目標】 ひとと自分も大切に作る心を持ち 互いに高め合う子どもの育成

2学期が始まりました

10月14日から2学期が始まりました。

3日間の休日の後、すぐに2学期が始まり、切り替えが難しいところですが、気持ちを新たにスタートするために、始業式に「挑戦・チャレンジ」について話しました。最初の一步を踏み出す勇気や覚悟をもって、行動力を発揮してほしいです。

6年生にとっては、小学校生活が残り5か月になりました。自分自身の可能性を引き出し伸ばすためにも、チャレンジ精神で様々な活動に取り組んでほしいと思います。

オークワかつらぎ店の見学



3年生の社会科では、消費者の願いや販売の仕方に着目し、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、仕事の工夫を考えまとめたり説明したりする学習をします。

そのために、オークワかつらぎ店を見学させていただきました。子供たちは、説明を聞いて疑問に思ったことを積極的に質問しました。帰校後、見聞きしたことを振り返って、さらに学びを深めることができました。

オークワかつらぎ店の皆様、ありがとうございました。

児童会役員選挙



4～6年生が、2学期の児童会役員選挙に臨みました。渋田小学校をさらによい学校にしたいという立候補者の熱い思いや勇気を讃えます。選出された5名の児童会役員の活躍を期待するとともに、みんなで渋田小学校をつくっていききたいと思います。

第3回学校運営協議会

今回は1学期の学校評価（児童・保護者）アンケート結果をもとに、学校運営の成果と課題について協議しました。2学期からの学校運営に生かしていきたいと思います。また、今後の活動として、花植え活動、クリーンアップ作戦についても共有を図りました。

陸上記録会

雨天のため延期となった陸上記録会が、10月24日に開催され、5・6年生の子供たちが出場しました。

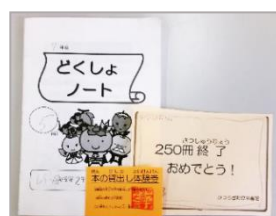
緊張が高まる中、練習の成果を発揮して、一人一人が自己記録の更新に挑戦しました。最後まであきらめない子供たちの姿から、「より速く、より高く、より遠くへ」という強い気持ちが伝わってきました。また、仲間に声援を送ったり、頑張りを讃え合ったりするだけでなく、他校の頑張りに拍手を送る姿もすばしかったです。



読書の秋

写真のように、かつらぎ町立図書館から配付された「読書ノート」への記録が、すでに250冊を超えている子がいます。また、図書室の本だけでなく、廊下に置いている町立図書館からの団体貸出し本を読んでいる子もいます。

読書の秋、たくさん本を読んで読書の幅を広げてほしいです。



宿泊研修



5年生が、紀北青少年の家で宿泊研修を行いました。フィールドサーチ、スポーツレクリエーション、野外炊事、キャンプファイヤー、森林学習、ウッドバーニング……。学校ではできないたくさんの体験をすることができました。

子供たちはどの場面でも全力で取り組み、集団の一員として立派に役割を果たす姿、力を合わせてやり遂げたときの表情を見せてくれました。

2日間の宿泊研修を通して、一人一人が輝き、

学級集団としての高まりが感じられました。



11月の行事予定

- 4日（火）交通指導、出前授業4年（3限）
- 5日（水）避難訓練（地震）（2限）
ふるさと先生クラブ
- 7日（金）学校開放日 9:40～15:20
- 10日（月）ドローン教室5年（3限）・6年（4限）
- 12日（水）集金日、誕生集会、専門委員会
- 13日（木）読み聞かせ3・4年（8:35～）
ビブリオバトル発表練習（15:30～）
- 14日（金）花植え活動5・6年（1限）
つるし柿体験4年（3・4限）
ビブリオバトル発表4～6年（6限）
- 15日（土）伊都地方文化祭（橋本市内各会場）
- 16日（日）伊都地方文化祭（橋本市内各会場）
ビブリオバトル大会（9:30～か総文）
- 17日（月）交通指導、花植え活動予備日
- 20日（木）伊都地方小中音楽会5・6年（午前の部）
- 21日（金）クリーンアップ作戦（雨天中止）
〔西渋田・東渋田：13:20～
志賀：13:05～ 新城：13:15～
下校 14:40、バス 15:05〕
- 25日（火）伊都消防組合見学3年 9:40～
- 29日（土）見好公民館文化祭 児童作品展示
- 30日（日）見好公民館文化祭 児童作品展示

「ほめる代わりに子供の存在を承認する」

この言葉は、『子どももママも輝く笑顔になる金のママ語』（山崎洋実 著）に載っていたものです。自身が一番心に残った言葉でしたので、著者の解説とともに紹介したいと思います。

例えば、お手伝いをしてくれたら「お手伝いできてえらいね。」ではなく、「お手伝いしてくれてありがとう。その間、食事の支度ができて助かったよ。」こんなふうに言うと、子供は、「役に立てた」と、自分が存在している喜びを感じることができるのだそうです。

このように、子供の存在を承認する言葉を伝えることが大切で、究極の存在承認は、「ありがとう」と書かれています。「ありがとう」とは、「あなたがいてくれたから助かった、嬉しかった」という、相手の存在を喜び認める言葉なので、無理に褒めるよりも、たくさん「ありがとう」を伝えるほうが子供の心に響くと筆者は述べています。そして、子供に「**ありがとうのシャワーを浴びせよう**」と結んでいます。

「ありがとう」の場面は、自然には生まれにくいものです。大人が意図的に子供にできることをさせて、「ありがとう」の場面をつくり出す必要があると思います。「あなたがいたから助かったよ。」と言える機会を多くつくりたいものです。

12月の主な行事予定

- 2日（火）校内マラソン大会（予備日 12/4）
- 3日（水）伊都地方人権教育研究大会のため
下校 13:20、バス 13:30
- 9日（火）笠田中学校入学説明会
- 10日（水）誕生集会、専門委員会
薬物乱用防止教室5・6年
- 11日（木）歯科検診
- 15日（月）食育教室
- 17日（水）ふるさと先生クラブ
- 18日（木）・19日（金）個人懇談会
- 24日（水）冬休み前集会

【スクールカウンセラー来校日】

11月4日（火）、18日（火）
12月2日（火）、23日（火）
※12:00～17:00
※ご希望の方は予約を入れてください。
（22-2004 教頭まで）